

水稲・大豆の生育と管理

令和7年7月号

宇佐市農政課 / 大分県北部振興局集落営農・水田畑地化第一班



HPにカラー版を掲載しています
(毎月1日更新)

●水稲の管理

◆中後期雑草対策 (最初の除草剤で雑草が抑えきれなかった場合など)

雑草が残ると、収量等に大きく影響します。

雑草発生圃場では、薬剤の使用時期(収穫前日数等)や雑草の葉齢を考慮して早めに処理しましょう。薬剤ごとに適用葉齢、水管理、使用時期が異なるので、ラベル等をよく読んで使用してください。

対象雑草	除草剤名	10aあたり使用量		使用時期
		薬量	散布液量	
広葉雑草のみ	バサグラン粒剤	3～4 kg	—	移植後 15～70日 (収穫 45日前まで)
	バサグラン液剤	500～700 mL	70～100 L	移植後 15～50日 (収穫 45日前まで)
イネ科雑草のみ	クリンチャー 1キロ粒剤	1 kg	—	移植後 7日～ノビエ 4葉期 (収穫 30日前まで)
		1.5 kg	—	移植後 25日～ノビエ 5葉期 (収穫 30日前まで)
	クリンチャー EW	100 mL	25～100 L	移植後 20日～ノビエ 6葉期 (収穫 30日前まで)
広葉及びイネ科雑草	クリンチャーバス ME液剤	1000 mL	70～100 L	移植後 15日～ノビエ 5葉期 (収穫 50日前まで)
	レブラスジャンボ または ゲパードジャンボ ※テフリルトリオンや ベンゾピミクロンを含む ため一部品種で薬害あり	400 g (小包装10個)	—	移植後14日～ノビエ 4葉期 (収穫 60日前まで)

注意 以下の稲品種には、特定の除草剤が使えません!

「みなちから」「とよめき」「タカナリ」「モミロマン」「やまだわら」「オオナリ」「ミズホチカラ」「笑みたわわ」等は特定の除草剤成分(ベンゾピシクロン、メソトリオン、テフリルトリオン)で薬害が起き、苗が白化して枯死する場合があります。上記の品種の除草に、これらの成分を含む除草剤を使用しないよう、ご注意ください。

農研機構のHPで詳細をご確認ください→



◆スクミリングガイ(ジャンボタニシ)対策

●耕種的防除

- ・浅水管理 貝が水稲に被害を及ぼすのは田植え後、約3週間までです。その間、水深をできるだけ浅く保ちます。水深1cm以下が理想ですが、4cm以下に保つと実害が少なくなります。
- ・水路からの侵入防止 水路から2cm以上の貝が大量に侵入する水田では、水路に1～2cmメッシュの金網や網袋を設置すると被害軽減に効果があります。

●化学的防除

- ・耕種的な方法ではうまくいかない場合は農薬(スクミノン、ジャンボたにしくん等)を使用します。

◆間断灌水

間断灌水とは田に水をため、自然に落水してから1～2日おいて入水することを繰り返す作業です。活着してから中干しまでは水の管理は間断灌水が基本で、常時湛水すると有毒な物質を含んだガス(有機酸)が湧き根傷みを起こします。

地中深く張る根へ水と酸素を充分に供給することで、根傷みを防ぎ元気な稲に育てましょう。

●大豆の管理

今年産から品種が「ちくしB5号」に転換されます。子実のへその色は**黄**で、今までのフクユタカと異なります。**フクユタカが混入しないよう注意**してください。

子実の外観



ちくしB5号

フクユタカ

◆種子消毒

種子消毒は**種子伝染性の病害予防**等に加えて、生育初期の種子腐敗を抑えて**発芽率の確保**や**発芽**を揃える効果があるので、**必ず行いましょう**。

農薬名	使用量 (種子1kgあたり)	適用病害虫
クルーザーMAXX	8 mL塗抹処理	アブラムシ類、タネバエ、ネキリムシ類、フタスジヒメハムシ、茎疫病、リゾクトニア根腐病、苗立枯病、紫斑病、黒根腐病、白絹病
キヒゲン	10g粉衣	ハト、タネバエ、紫斑病

◆播種適期と播種量 大豆の播種適期は7月1日～7月15日です！

早播きは過繁茂や倒伏を起こしやすくなります。また7月中旬以降の播種は収量が大きく下がります。播種量は播種時期によって加減してください。

時期	条間×株間	播種量
6月20～30日	75cm×20cm	4kg/10a
7月1～15日 ※適期	75cm×20cm	4kg/10a
7月16～25日	75cm×10cm	8kg/10a

◆雑草防除(初期除草剤)

大豆は**初期生育時の雑草防除**が重要です。除草剤の使用時期を確認し、必ず散布を行いましょう。

使用時期	薬剤名	10aあたり使用量	
		薬量	希釈水量
耕起前または出芽前まで(雑草生育期)	ラウンドアップマックスロード	200～500 mL	通常散布 50～100 L 少量散布 5～50 L
播種後出芽前(雑草発生前)	ラクサー乳剤	400～800 mL (ツクサにも800 mL/10aの薬量で効果あり)	100 L

◆中耕培土

湿害・倒伏防止、雑草防除をかねて行いましょう。

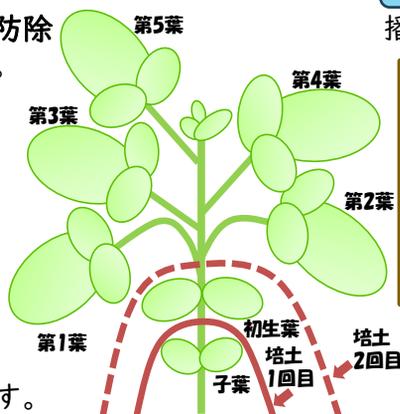
1回目

本葉2～3葉期
子葉が埋まる程度

2回目

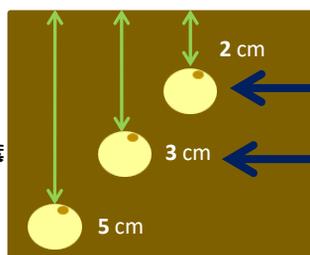
本葉5～6葉期
初生葉が埋まる程度

花が咲くまでに行います。



◆播種の深度

播種後の天候を予測して、播種深度を変えましょう。



播種直後に大雨が降りそうなら**2cm**

基本は3cm

乾燥が続くそうなら**4～5cm**
鎮圧をしっかり行います